



Its Time to Fall ?

GADGET
R18

何時でも決まった事を
一人で淡々とこなす
人が絡まない分だけ
問題も起こらないけど
昨日が今日と知らずに
入れ替わってたとしても
気づけないような日々を
歴史と呼べず悩んでた

そんなとき君が現れて
こっちへおいでと手を伸ばす
その手に一瞬触れただけで
世界が違って見えた

本当はこんなタイミング
待ってたのかもしれない
見たこともない世界へ
誰かと落ちるその時を
恋の1つも知らないで
一生を終わるなんていやだ！

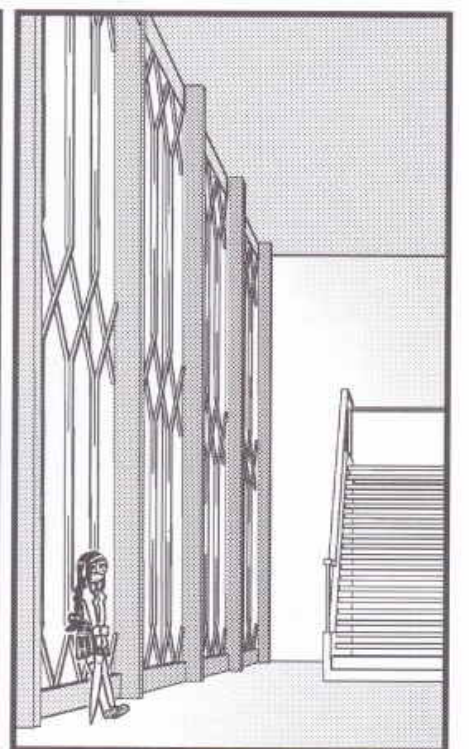
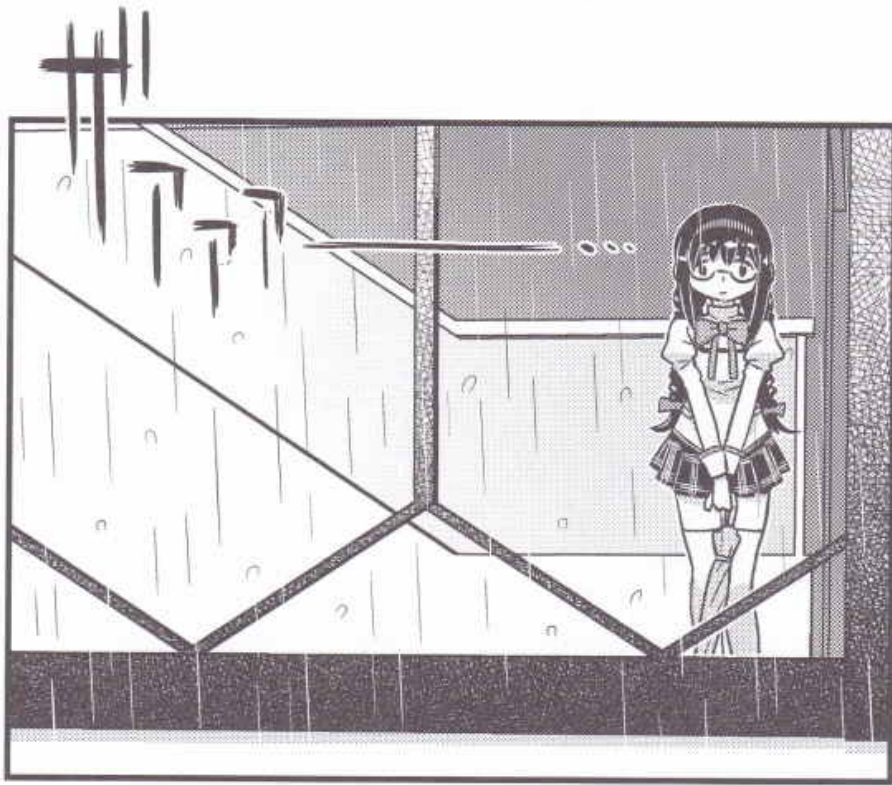
心の叫ぶ声に耳を
塞ぐ手をどければ
IT'S TIME TO FALL !

傷つけたり傷ついたり
我慢したりこじれたり
人が絡めば問題も
起こったりもするけど

誰かという事でしか
見えないものがあるなら
その相手は君しかいない
握った手を離さない

槇原敬之 Fall

Year	Month	Day	Time	Location	Activity	Remarks
1950	Jan	1	08:00
1950	Jan	2	08:00
1950	Jan	3	08:00
1950	Jan	4	08:00
1950	Jan	5	08:00
1950	Jan	6	08:00
1950	Jan	7	08:00
1950	Jan	8	08:00
1950	Jan	9	08:00
1950	Jan	10	08:00
1950	Jan	11	08:00
1950	Jan	12	08:00
1950	Jan	13	08:00
1950	Jan	14	08:00
1950	Jan	15	08:00
1950	Jan	16	08:00
1950	Jan	17	08:00
1950	Jan	18	08:00
1950	Jan	19	08:00
1950	Jan	20	08:00
1950	Jan	21	08:00
1950	Jan	22	08:00
1950	Jan	23	08:00
1950	Jan	24	08:00
1950	Jan	25	08:00
1950	Jan	26	08:00
1950	Jan	27	08:00
1950	Jan	28	08:00
1950	Jan	29	08:00
1950	Jan	30	08:00
1950	Jan	31	08:00
1950	Feb	1	08:00
1950	Feb	2	08:00
1950	Feb	3	08:00
1950	Feb	4	08:00
1950	Feb	5	08:00
1950	Feb	6	08:00
1950	Feb	7	08:00
1950	Feb	8	08:00
1950	Feb	9	08:00
1950	Feb	10	08:00
1950	Feb	11	08:00
1950	Feb	12	08:00
1950	Feb	13	08:00
1950	Feb	14	08:00
1950	Feb	15	08:00
1950	Feb	16	08:00
1950	Feb	17	08:00
1950	Feb	18	08:00
1950	Feb	19	08:00
1950	Feb	20	08:00
1950	Feb	21	08:00
1950	Feb	22	08:00
1950	Feb	23	08:00
1950	Feb	24	08:00
1950	Feb	25	08:00
1950	Feb	26	08:00
1950	Feb	27	08:00
1950	Feb	28	08:00
1950	Feb	29	08:00
1950	Mar	1	08:00
1950	Mar	2	08:00
1950	Mar	3	08:00
1950	Mar	4	08:00
1950	Mar	5	08:00
1950	Mar	6	08:00
1950	Mar	7	08:00
1950	Mar	8	08:00
1950	Mar	9	08:00
1950	Mar	10	08:00
1950	Mar	11	08:00
1950	Mar	12	08:00
1950	Mar	13	08:00
1950	Mar	14	08:00
1950	Mar	15	08:00
1950	Mar	16	08:00
1950	Mar	17	08:00
1950	Mar	18	08:00
1950	Mar	19	08:00
1950	Mar	20	08:00
1950	Mar	21	08:00
1950	Mar	22	08:00
1950	Mar	23	08:00
1950	Mar	24	08:00
1950	Mar	25	08:00
1950	Mar	26	08:00
1950	Mar	27	08:00
1950	Mar	28	08:00
1950	Mar	29	08:00
1950	Mar	30	08:00
1950	Mar	31	08:00





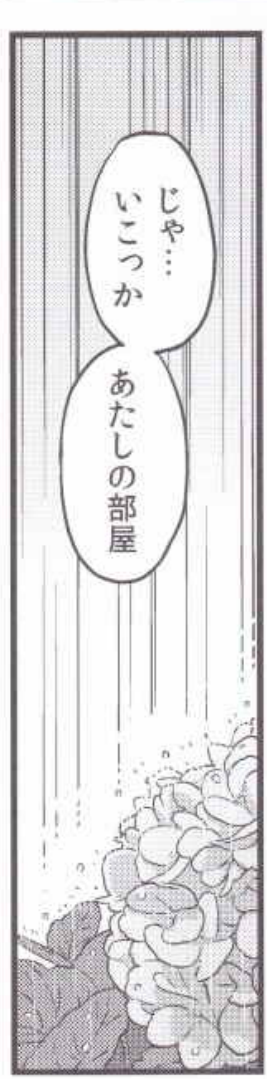
ほむらちゃん
待った?

びびび

びび!



すんっ



じゃ...
いこっか

あたしの部屋



えひひ...♡



ま...待って...

ない...です...
鹿目さん

Its time to fall ?

A-10

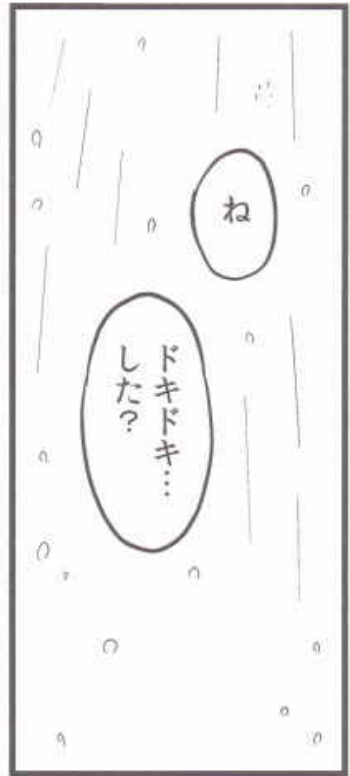




その顔は…
「はい」って顔だ♡

あ!

……



ね

ドキドキ…
した?



靴下交換
しちゃったね?

「友情の」

一日中
思いつきり…



さやかちゃんは
鈍感だけど…



仁美ちゃんには
気付かれたかも

……!



教えてよ…

友達の
生靴下履いて
学校通うって…

鹿目…さんの
匂いが…

く…靴下から
立ち昇って…

制服の隙間から
体温で出来た
気流に乗って…

ほ…頬をなでる
感じ…でした…



どんな感じ
だった？



そ…それで…

よ…汚したく
なかつたけど…

雨…降って
たから…

…その…

ちょっと…



人間って水蒸気の
服に包まれて
るんだってさ…

あたしの匂いが
ほむらちゃんを
包んだんだね…



ちよっとだけ…

む…蒸れた…
…かも…

ふん？

じゃ嗅ぐね？

あ…はい



か！鹿目
さん！

何言って…
ちよっと!!

ん

ん



…ほむらちゃんの
匂い…好きだよ…♡

ん

ん

ん

ん



いつもより
濃い匂い…♡

一回雨に
濡れてから
乾くと…

結構においって
キツくなるね…♡

がががが

ん



あたし甘目の
コロンを靴下にも
少し振ってるけど…

ほむらちゃんの
「コロン♥」も
ちゃんとお鼻に
抜けて来るよ♥

や…そんな事…
言わないでっ

家猫の足の裏
みたいに
しっとりしてて
美味しそうな…

ボディの強い
大地に根差した
匂いだよお…

こんなこと…
友達同士で
する事じゃ…

え…？
普通するよ？

しませんっ！

なな…何ですか
その表現っ！

ほめて
るんだよ？



あ♥それは
「今度試してみよう」
の顔だね？

ほむらちゃん
顔にすぐ
出るんだもん

……



ね…猫の足の裏って
そんな匂いするの？

うん…あたしは
…好きかな♥





あたし気付いてるよ…

だからあたしも本当の気持ちを言うの…

私は…ほむらちゃんの足の裏が好き足の匂いが好き

ね…鼓動…聞こえる…?



ほむらちゃんの想い…

今日一日…どうにかなりそうだったの…

ほむらちゃんに包まれてるって思ってた…何度も何度も…真っ白になって…



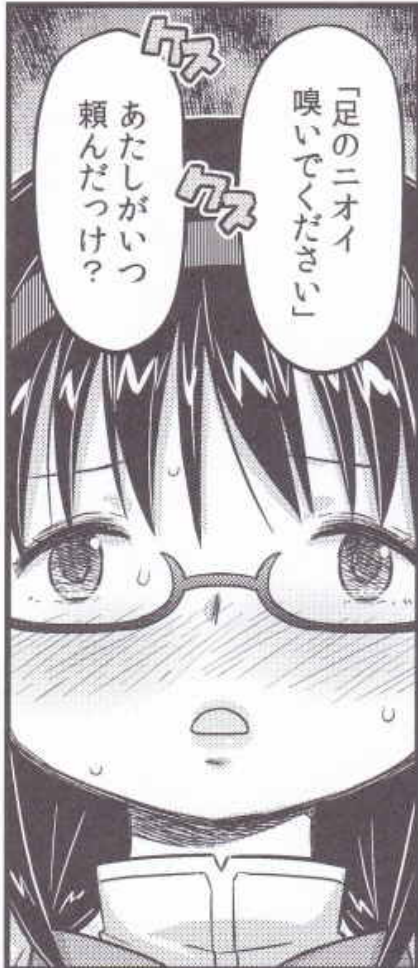
真っ白になるって…

…判る??

コソコソ











秘密だよ…

これは二人だけの…



ひざまづいて…
ほむらちゃん…



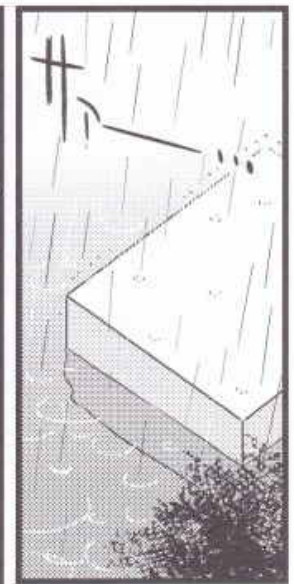
鹿目さんの
足の裏…

良い…
ニオイでよ…



ほむらちゃん…
どお？

は…
はひ…







オナニーのマナー…
知らなかったんです！

次までに
覚えますから
オナニー
教えてください！



こういう事にも
マナーがあるって
知らないの？

オナニーするなら
独りでしてよね
ほむらちゃん！

ご…ごめんなさい…
許して…鹿目さん…



わかった…

ほむらちゃんの
熱意にはまどか
負けたよ

…じゃあ…
私に四つんばいで
またがって…

おしりをこっちに
向けよっか♡



ど…どうですか…
鹿…目…さん…

何か…間違った…
んっ…事…
してます…か…？

ふふ…♡
…そのまま続けて？

あ、いく時は
ちゃんと宣言してね？







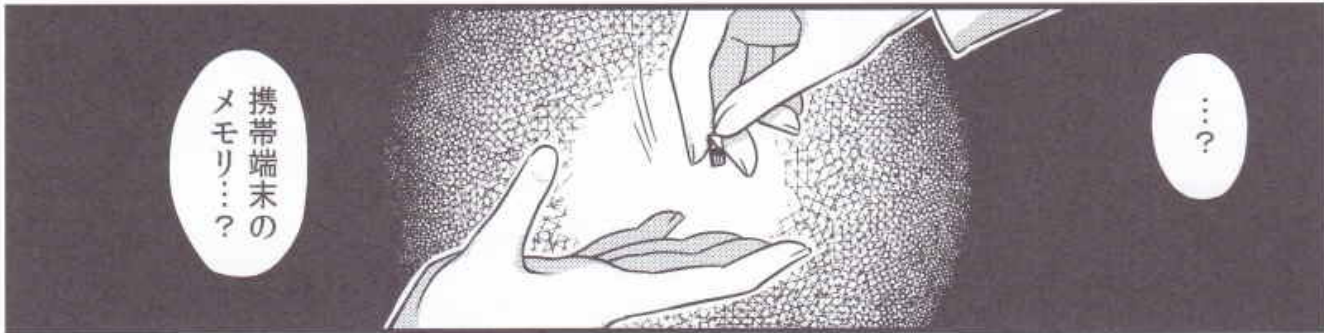
ほむらちゃんが
呼び出すなんて
珍しいね？



どうしたの？
ほむらちゃん



数週間後



携帯端末の
メモリ…？

…？



鹿目さんも…あたしで…
してくれと…嬉しいな…



予習復習の…
成果…報告です…

この間は…ありがとう
ございます…これは…



か…鹿目
…さん…



まろい女あッ

好きキミ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

キッ



これ…何か
わかりますか？

か…鹿目さん…



あの…
ほむらちゃん…

ええと…すごく…
うれしいよ…

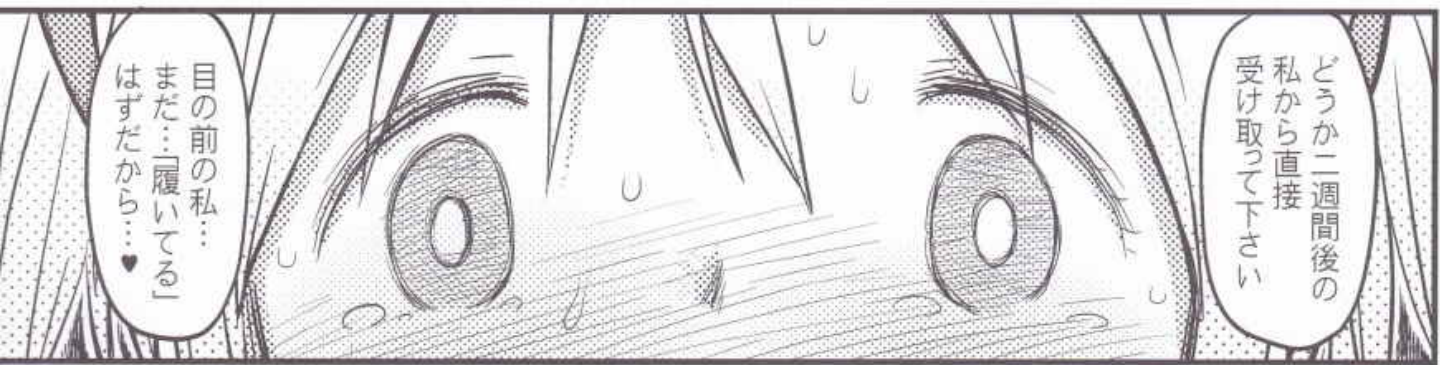
あ！
ま…まだ…
つづきが…

続きの！？

サッ

サッ

サッ





曉美さんは
鹿目さんと帰るの？

仲が良いわね



あらやだ！
鹿目さん
顔が真っ赤…

風邪かしら…

曉美さん…無事に
送ってあげて
くださいね♥



はい
先生…

もちろん
です…♥

ガジェット工房の初百合本は…

ななんかおかしい感じになってやしないですかねえ…

もっと情緒を出したくてゆったりとさせたのに…

キスシーンに見開きまで費やしたのに

靴下とかいっぱい描こうと決めてたのに…

結局いつものアレになってしまってます。

…申し訳ございません！

—応今回のテーマは「匂い」です。

外は雨。

湿度の気持ち高めなまどかの部屋…

生乾きの髪…制服…靴下…

遊びのはずの匂いかぎっこが、二人の間を急速に近づけてゆく…

そういったものを少しでも感じて欲しくて

舞台設計したはずが…したはずが…

まあ二回三回…と回数を重ねれば勘が得られるさ。

次回反省してまた描くよ！

むしろよりハードなSM的内容にした方が良くもですね。

ともかく、次もまどかを描いてると思います。

どうぞよろしく願いいたします！

まどかのおしっこの乾いた匂い

ほむらの生乾きの靴下の匂い

それらを一瞬でも鼻孔に感じていただけましたら

本望でございます…

■奥付■

発行日

初版:2015年8月16日

誌名

Its Time to Fall ?

発行

ガジェット工房

発行責任者

A-10/不破大輔

a10gadget@live.jp

Pixiv ID:820557(全年齢)/11934182(R-18)

印刷

上野印刷様



Its Time to Fall ?

GADGET
R18

